

八田與一年譜

- 明治 19年 0才 石川県河北郡今町村(現金沢市今町)にて、2月
21日 父四郎兵衛・母サトの五男として出生
- 25年 6才 今町尋常小学校入学
- 29年 10才 森本尋常高等小学校入学
- 32年 13才 石川県立第一中学校入学
- 37年 18才 第四高等学校入学
- 40年 21才 東京帝大工科大学土木科入学
- 43年 24才 総督府土木部技手として台湾に渡る
- 大正 4年 29才 台南市上水道工事に従事
- 6年 31才 米村外代樹(16歳)と結婚(金沢で挙式)
- 8年 33才 嘉南平原の測量調査を開始
- 9年 34才 総督府を辞し組合技師となる(嘉南大圳の着工)
- 11年 36才 烏山頭出張所長拝命・烏山頭に転居
アメリカ・カナダ・メキシコのダム視察
- 昭和 元年 40才 烏山頭堰堤の本工事開始
- 5年 44才 烏山頭水庫(ダム)竣工
- 6年 45才 ダムに臨む丘に與一の銅像が設置、除幕式が行わ
れる
- 8年 47才 嘉南大圳の経済効果が顕著になる
- 10年 49才 母校の花園小を訪問し講演する
- 12年 51才 土木測量技術員養成所設立に奔走、顧問となる
- 17年 56才 陸軍省の命により南方開発派遣要員としてフィリ
ピンに向かう途中、5月8日米潜水艦の攻撃をう
け大洋丸沈没、東シナ海にて死亡
- 19年 銅像撤去供出(八田一家が住んでいた烏山頭の家の
ベランダに置かれる)
- 20年 外代樹、烏山頭ダムの送水口に投身自殺 45才
- 21年 八田夫妻の墓が烏山頭に建立
- 22年 5月8日、第一回墓前祭が行われる。
(以降毎年命日に行われている)
- 36年 銅像が元の場所に台座付きで再設置
- 60年 金沢から八田技師夫妻の墓参団が台湾を訪問
- 平成 12年 ダム放水路の横に、「八田與一技師・外代樹夫妻
記念室」が開館
- 16年 八田技師が金沢市の偉人に顕彰される
- 18年 生家今町八田守家において、技師生誕地碑除幕式